

久御山町第3期産業振興計画（概要版）（案）

● 策定の趣旨 ●

これまでの取り組みと成果を踏まえつつ、変動する社会情勢に柔軟かつ積極的に対応するこれからの久御山町の地域経済の持続的な成長を目指すその指針として策定するものです。

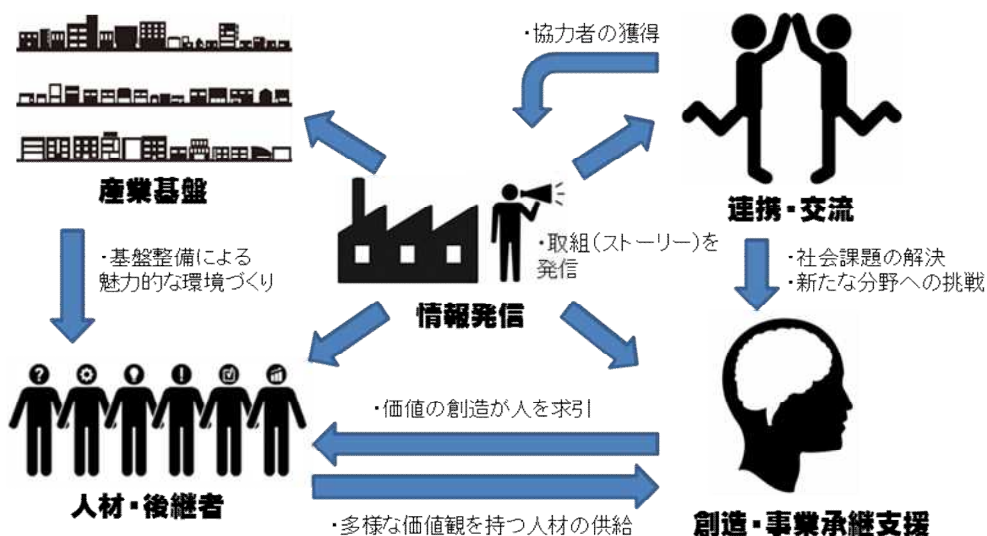
● 計画期間 ●

令和8年度から令和12年度まで

● 産業振興に対する基本的な考え方 ●

農業と工業が調和を保つとともに、住民、事業者、農家、大学、行政等が積極的に交流し、新たな方向性にチャレンジすることで新しい価値を創造するとともに、目先の利益だけにとらわれず、地域課題や社会課題の解決に挑戦する事業所を支援していく必要があります。そのためには、多様な価値観をもった人材を雇用し、育てていく必要があります。新たな価値の創造が多様な人材を惹きつけます。町は積極的な支援とともに、これらの取組（ストーリー）を発信することで、住民、事業者、農家、大学、行政等とともに成長していく姿勢が重要です。

● 目指すべき方向性の事業イメージ ●



● 目指すべき姿 ●

5つの「カイ」で進める なえどころ ものづくりの苗処の成長

● 目指すべき方向性 ●

産業基盤の改善

産業基盤として適正な土地利用の維持、産業用地の魅力のある企業の誘致と、交通の利便性の確保など、経済活動を支えるためのインフラや技術基盤を強化するとともに、事業者の経営力の向上を図り、農業と商工業の二刀流の産業基盤の改善を図ります。

情報発信の改新

既存の情報伝達方法を見直し、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)とHP(ホームページ)との相乗効果を引き出すとともに、展示会や販売会によるパフォーマンスを効果的に組み合わせ、求められる情報をより新しく伝える伝達方法に改新します。

連携・交流の改革

事業者、農業者、金融機関、大学等学術機関、行政など様々な主体間の連携を促し、交流を充実させるとともに、大学研究機関等との連携に新たに取り組み、新商品開発や販売力の向上につなげるなど、産学金官連携を強化し、改革します。

人材・後継者育成の改良

人材、後継者の育成は組織の持続的な経営と成長に必要不可欠であり、現状の分析や育成計画の策定、実勢を踏まえた評価と改善に取り組み、女性や若者が生き生きと働きがいのある職場環境に改良します。

創業支援・事業承継の開花

新たな経済活動の担い手となる創業者の事業が成功し、花が開くために必要な支援を充実させる。特に親族や社内に後継者がいない場合に、M&Aの手法を用いて事業を第三者に引き継ぐ仕組みに取り組みます。